

外国人児童の「先輩に学ぶ会」

夢を持って自分らしく

鶴城小学校で1月23日、外国人児童の「先輩に学ぶ会」が行われ、3年生以上の児童約50人と早期適応教室に通う市内の小・中学生15人が参加しました。大学生のアラウジョ・ケンジさん、高校生のグエン・バン・バオタンさん、中学生の山本莉那さんの3人の外国籍を持つ先輩が、日本に来た直後のエピソードや苦手な漢字を覚える方法、アニメを見て日本語を覚えたことなど、さまざまな体験談を話しました。「夢を持って、自分の得意なことを伸ばすのが大事」という先輩の言葉を、児童たちは真剣な表情で聞いていました。



名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会

電 車を通してつながっていこう



西尾市の「名鉄西尾・蒲郡線応援団」と蒲郡市の「市民まると赤い電車応援団」による名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会が1月29日、形原中学校(蒲郡市)で行われました。各団の代表が「学生や高齢者にはなくてはならない」「観光立国といわれ乗客は増えてくる」と同線の存続を改めて訴えた後、沿線の中学生・高校生が意見発表を行いました。西尾中学校の生徒は同線の必要性や利用促進案を発表。「近くて遠い西尾と蒲郡 電車を通してつながっていこう」と締めくくりました。

孫と一緒に恵方巻きづくり

料 理を通してふれあいを深める

「孫と一緒に恵方巻きづくり」が1月29日、中央ふれあいセンターで行われました。西尾市生活改善実行グループ連絡研究会の会員を講師として、地元で採れた米や野菜などを使って恵方巻き作りに挑戦。巻きすにのりと酢飯を敷き、調理した玉子焼きやニンジン、シイタケなど7種類の具材を山盛りに乗せ、孫と協力して上手に巻いていました。この他、ササミカツを具にした恵方巻きも作り、人数分に切り分けた後、孫と顔を見合わせて満面の笑みを浮かべながら、おいしそうに試食していました。



黒壁運動&里山作りボランティア

黒 壁の風景と梅園を整備



2月5日、佐久島の自然や景観を守るため、島民とボランティア合わせて約160人が黒壁運動&里山づくりを行いました。弁天島や大島など各持ち場に分かれて作業を開始。雨が降るあいにくの天気でしたが、笑顔で声を掛け合いながら、壁に黒い塗料を塗ったり、梅園の整備をしたりしました。作業の後には、弁天サロンで温かいおでんや島の海の幸が詰まった味噌汁が振る舞われ、一仕事を終えて満足そうな表情で堪能していました。



第60回剣の式剣道大会

日頃の鍛錬の成果を競い合う

平坂小学校で1月15日、第60回剣の式剣道大会が行われました。小・中学校男女、一般の部に合わせて62チームが参加し、予選のリーグ戦、決勝のトーナメント戦で白熱した戦いが繰り広げられました。選手たちは間合いを取りつつ、気合を発して鋭い技を繰り出し、一本が決まると会場から大きな拍手が送られていました。結果は、小学校男子と同女子で矢田小学校、中学校男子で福地中学校、同女子で平坂中学校、一般で平坂剣友会がそれぞれ優勝しました。



生き方を学ぶ会&アルパミニコンサート

先輩からのエール～夢を持って～



幡豆中学校で1月20日、「生き方を学ぶ会&アルパミニコンサート」が行われ、3年生106人が参加しました。アルパとはスペイン語でハープを意味する楽器で、講師のアルパ演奏家・奥村陽子氏は同中学校の出身。生徒たちは「コンドルは飛んでいく」などの演奏に耳を傾け、アルパの美しい音色に癒やされました。夢をかなえ、世界で活躍する先輩の体験を聞くことは、卒業を間近に控えた3年生にとって大切な機会になりました。

年賀状の製本と手帳を作ろう

本を修理するボランティアの養成講座

「年賀状の製本と手帳を作ろう」が1月19日、吉良図書館で行われました。本の修理や製本の仕組みを学び、ボランティアとして活動してもらえる方を養成するために行われたもので、16人が参加。一級製本技能士の指導の下、製本の手順をスマホで撮影したり、メモを取ったりしながら、50枚ほどの年賀状をきれいな模様の包装紙などを使って製本しました。また、和とじでオリジナル手帳作りにも挑戦し、参加者はその出来栄に感激していました。



第52回一色マラソン大会

三河湾の潮風を受けて走りました



一色町体育館周辺で1月22日、元オリンピック選手の大島めぐみさんをゲストランナーに迎え、第52回一色マラソンが行われました。ハーフマラソンや10km、5kmなどの25部門に、市内外から3,534人がエントリー。選手は穏やかな潮風を受け、仮装して周りを楽しませるなど思い思いに大会を楽しみながら、気持ちのよい汗を流しました。沿道からの応援や大勢のボランティアスタッフの協力に支えられ、それぞれの目標に向かって、コースを走りしました。